



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴丸イ言

鹿児島県立鶴丸高等学校

〒890-8502 鹿児島市薬師二丁目1番1号

TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433

http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

12月の行事予定

12月		食	休
1	④ 悠学講座⑤ (GTEC検定日)	×	×
2	④	×	×
3	月 全校朝会 スクールカウンセリング	○	○
4	火	○	○
5	水	○	○
6	木	○	○
7	金	○	○
8	④	×	×
9	④ 郷中ゼミ(2年)	×	×
10	月 学年朝会 学校安全の日 第6回職員会議	○	○
11	火	○	○
12	水 スクールカウンセリング	○	○
13	木 45分7限授業	○	○
14	金	○	○
15	④ 悠学講座⑥	×	×
16	④	×	×
17	月 全校朝会 スクールカウンセリング 7限目は水7の授業	○	○
18	火	○	○
19	水 薬物乱用防止教室 45分6限授業 2限カット	○	○
20	木	○	○
21	金 大掃除 センター試験激励会 実力考査時間割発表	○	○
22	④	×	×
23	④ 天皇誕生日	×	×
24	④ 振替休日	×	×
25	火 冬季悠学講座	○	○
26	水 冬季悠学講座	○	○
27	木 冬季悠学講座	○	○
28	金 冬季悠学講座 実力考査時間割発表	○	○
29	④ 3年センタープレ	×	×
30	④ 3年センタープレ	×	×
31	月	×	×

夏休みの悠学館にて。ある生徒が窓際の席で一生懸命に世界史の勉強をしている。その勉強方法がとてもおもしろくしてはばく見ていた。悠学館の机は6人掛けの机なのでとても大きい。その日は利用者も少なく空いていたので、生徒は、机の上いっぱい教科書、ノート、資料集、参考書、悠学館で選んだ本教冊を広げ、すべてを読みながら勉強を進めていたのだ。その生徒は、「教科書では説明が1行のところも、悠学館にある本では何ページにもわたって詳しく説明が書いてあったりする。一度全部を通るだけで頭に入るから何度も勉強し直さなくていい。」と教えてくれた。理想的な図書館での勉強法だなど、とても感心したのが4年前。以来、悠学館に勉強をしに来る生徒は多いけれど、その生徒のような姿を見かけることはなかった。

最近こんなことがあった。金曜日の放課後、教育と貧困についての本を紹介してほしい、と言われ、話を聞きながら数冊の本を紹介した。週末の休みを挟んで月曜日、その生徒は再び悠学館へやって来た。休みの間に県立図書館にも足を運び、本を借りたという。私としても感心した。もちろん県立図書館や市町村立図書館で本を借りたり、学習室等を利用して勉強したりしている生徒がいることは知っていた。だが彼女が他の生徒と違ったのは、調査相談カウンターを利用したことだ。鹿児島県立図書館のHPによると、「調査相談(レファレンス)」とは、図書館に寄せられた質問・相談について、図書館の資料と機能を活用し、質問者を援助することをいいます。」とある。県立図書館には、八〇万冊以上の図書が所蔵されているのだが、その膨大な資料の中から自分が求めている情報を探し出すのは簡単なことではない。検索機があるからそれで調べたら簡単だと思っ人がいるかもしれない。しかし、検索機が出てきた結果だけがあなたの求めている

ものなのだろうか。検索機で検出されなかった資料の中にもあなたの求めているものがあるかもしれない。では、それはどうやって知ることができるのだろうか。そんな時に活用できるのが調査相談だ。専門の職員が様々なスキルを駆使し、あなたの調べ物を助けてくれるのだ。彼女は図書館職員に相談し、様々な資料を紹介してもらったという。悠学館には無かった資料、情報に出会うことができ、彼女の世界は広がり、知識はグッと深まったに違いない。まずは自分で調べ、その後学校司書に相談し、さらには公共図書館へ出向いてより多くの情報を求め、調査相談カウンターを利用した。このように知りたい情報を求めて上手に図書館を活用することができる生徒がこの鶴丸高校にはいるのだ。

平成二十四年六月十二日の毎日新聞に掲載された「読書の千本ノック」という記事を紹介したい。



11月12日(月)に行われた集団読書の様子 同じ本を読みながらも異なる解釈が出る

石川県の星陵高校に野球部名誉監督の山下智茂さんを訪ねた時のこと。「野球は人間がやるものだから、心がしつかりしてないとプレーに表れる。ところで人間性を豊かにし、精神力と忍耐力を同時に高める指導法がある。何か分かりますか?」という。答えは「読書」。だから、野球部にも「本を読め」と指導する。山下さんの「読書の千本ノック」を、まともに受けて立った高校球児がか

ついていた。山下さんはこの生徒のために3カ年計画を立て、定期的に書物を手渡し続けた。最初は日本や世界の歴史書。福澤諭吉、二宮尊徳、アリストテレス。過酷な野球練習の後も、生徒は片道1時間の電車通学を利用して、本を読み続けた。山下さんは振り返る。「彼、松井秀喜君は、僕が知る中で最も本を読んだ高校生です」

この記事を読んだ当時は目から鱗が落ちる思いがした。なぜなら、読書って楽しい、読解力が鍛えられる、表現力がつく、想像力、創造力が豊かになるくらいに認識しかなかったのが、スポーツにも活かされる一面があったのだ。考えてもいなかったからだ。読書は、国語の勉強などの一面だけではなく、普段の生活の中での至るところで深く開き、意識しなくてもあらゆる面で自然と自分を高めてくれているのかもしれない。

図書館のすすめ
悠学館 司書 中熊美智代

桜島に負けぬアツい走り

第六十六回ロードレース大会

前日までの冷たい雨の影響を全く感じさせない青空の下、十一月九日に第六十六回ロードレース大会が桜島溶岩グラウンド及びランニングコースにおいて開催された。生徒たちは体育の授業で約一カ月にわたり走り込みを続けてきたが、その成果を発揮すべく、個々の限界と向き合

霧囲気が変わった気がする。まず、新聞を読みに来る生徒が増えたこと。休み時間や放課後に館内で読書をしている生徒の姿が増えたこと。そして、四年前に感じて勉強している生徒がいること。この先の長い人生、図書館を上手に活用できる術を持っていたらより豊かな、より充実した人生が待っていることだろう。鶴丸生には、まず、悠学館からその一歩を踏みだし、その先も身近に図書館のある豊かな人生を送ってほしい。

う力走を見せた。今回もPTA保健部の役員皆さんのお手伝いや多くの保護者の声援をいただいた。なお、成績は次の通り。

この記事を讀んだ当時は目から鱗が落ちる思いがした。なぜなら、読書って楽しい、読解力が鍛えられる、表現力がつく、想像力、創造力が豊かになるくらいに認識しかなかったのが、スポーツにも活かされる一面があったのだ。考えてもいなかったからだ。読書は、国語の勉強などの一面だけではなく、普段の生活の中での至るところで深く開き、意識しなくてもあらゆる面で自然と自分を高めてくれているのかもしれない。



季節外れの暑さと戦いながら、各々のペースでコースを駆け抜けた。

〔二年男子〕			〔二年女子〕		
一位	二位	三位	一位	二位	三位
26 R	21 R	27 R	26 R	21 R	27 R
浜崎 秀斗 (34分18秒)	冨田 隼 (34分37秒)	川崎 夏稀 (34分53秒)	川崎 夏稀 (34分53秒)	川崎 夏稀 (34分53秒)	川崎 夏稀 (34分53秒)

憲法を考える、良い機会に

文化講演会

今年度の文化講演会が十一月六日に実施された。この「文化講演会」は毎年卒業後三十年を迎えた学年の先輩方による企画で実施されるもので、今年度は講師として本校OBで東京・赤坂に福岡法律事務所を開設、代表弁護士として活躍されている福岡真也さんが、「弁護士と憲法」という演題でご講演下さった。

集团的自衛権や憲法解釈の問題をとおしてより身近なものとして憲法や法律を考える良い機会であり、また東京において現役で活躍される弁護士のお話を聞く事のできる、貴重な時間となった。

憲法の根本的意味を洞察する話が面白かった。結局は生まれながらにして人はみな「人権」を持っており、政治はそれを守っていくか、ねばならないこと、そしてそのことは人が長い歴史の中で追求してきた理想像だということ。改めてその重みをかみしめるとともに、今一度現代人が忘れかけているであろうこの感覚を大切にしていかなければならないと痛感しました。

福岡さんは課題解決のために「なぜだろう?」と自分で思ったことを人に聞く、そして話し合う重要性も指摘されていました。法律を扱う以上、人と接することも多いかと思えます。そのような場所(環境)で働く方の生の声を聴く事が出来た機会を、今後の学びの一助にしたいと思います。

生徒感想文 15R 武田 直哉



〔二年女子〕		
一位	二位	三位
11 R	18 R	18 R
宇都 美葵 (21分02秒)	川畑 香奈 (21分03秒)	瀬戸山 友里 (22分05秒)